

One23

ワンツースリー

Vol.36

東京23区が
見える。
わかる。

2019
SPRING

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の季刊広報誌

23区の 平成を ふりかえる!

特集



- クマなくさんぽ
…リニューアルオープン!
日本最古の洋式音楽ホールを有する
「旧東京音楽学校奏楽堂」
- 所蔵資料蔵出し
…「東京遊学学校案内」

もっと活用しよう!

特別区自治情報

こんなことしたよ

平成30年度特別区全国連携プロジェクト 第2回全国連携展示(青森県市町村)「縄文の大地 青森の魅力」

特別区長会と連携協力協定を締結した青森県市長会、青森県町村会との連携事業として、青森県市町村の紹介展示を平成31年1月8日(火)から2月14日(木)にわたり、東京区政会館1階にて開催しました。

今回の展示では、縄文遺跡群の世界遺産登録を目指した動きを中心に、青森県の様々な魅力を紹介したパネル等を展示したほか、青森県市町村のパンフレットの提供、自治体PR動画を上映しました。

展示物を見た来場者からは、「青森の歴史を知ることができてよかった。」「三内丸山遺跡へ行ってみたい。」等の感想をいただきました。

また、展示期間中の関連イベントとして、平成31年1月24日(木)には青森県の特産品の販売やVR(ヴァーチャルリアリティ)体験イベントを開催し、多くの方で賑わいました。

青森県市町村の素晴らしさや魅力を発見し、交流を深めていただくきっかけとなる展示となりました。



VR体験の様子



展示の様子



特産品販売の様子

こんなことしたよ

公益財団法人特別区協議会 刊行物紹介展示

東京区政会館1階エントランスホールにて公益財団法人特別区協議会 刊行物紹介展示を開催(平成31年2月19日(火)～3月28日(木))しました。

特別区協議会が発行する情報誌や刊行物をはじめ、特別区自治情報交流センターの紹介を行いました。また、問題に答えながら、特別区を学べるクイズパネルの展示も行いました。

特別区協議会では引き続き、東京区政会館1階エントランスホールを活用した企画展示を開催いたします。皆様のご来館をお待ちしております。



交流センター

特別区自治情報・交流センターとは？

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約9万冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料
蔵出し

おすすめのほんだよ

特別区に関する資料から読み解いてみよう!



▶▶ 東京遊学学校案内 大正14(1925)年2月9日発行 (大正14年版/出口 競著)

本書は、大正14(1925)年頃、当時の東京の学校紹介を目的に刊行されました。今回は、本書を通じて当時の東京の学校事情をみていきます。

大正時代の東京学校事情

大正14(1925)年当時の東京には、「男と女の学校を併せて、3百(小學校を除いて)以上」の学校がありました。下図を見ると、皇居を中心として、東京市(現在の東京23区)内の各地に今でも名を馳せる歴史ある有名校が数多く存在していたことが分かります。様々な大学や専門学校が多く存在する「東京と云ふ都會は學校へ入学する者の為に実に都合がよく出来て居る。云はゞ『學校のデパートメントストア』」でした。



<東京学校所在地図(抜粋)>

関東大震災と東京の学校

大正12(1923)年9月、東京市は関東大震災に見舞われました。この震災により「東京に於る學校の五六割近くが一時は失われ」ることとなります。

しかし、東京は瞬時に立ち直ります。「先づ、神田では圖書館が焼け残つたのを幸ひ之を中心として中央大學が盛り返し、研数学館では十月の末に早くも焼あとにバラツクを建て、道行く人の耳に勇ましい講義を聴かせ」たとして、被災して大きな被害が出たにも関わらず、東京で学ぼうとする学生は減ることなく、学校はますます増え続けたことが記されています。

上京に当たって

上京して東京の学校に通う上で避けられない壁となったのが、ふところ事情でした。大正時代、尋常小學校(6年)までは義務教育期間で、中等學校以上の學校に入学するには学費が必要でした。一番高額だったのは大学で、右表を見ると、東京帝国大學(現在の東京大学)の場合、「授業料年額大學七拾五圓、入学金五圓」とあります。

さらに、下宿代だけでも「六疊の間で食料共三十五六圓はとるのが普通」で、大正14(1925)年頃の国家公務員初任給が75円であったことからすると、上京して學校に通うためにかかる費用は、大変高額であったことがうかがえます。

校名	授業料	入学金
東京帝国大學	七拾五圓	五圓
東京女子大學
東京商學專門學校
東京美術專門學校
東京音楽專門學校
東京工業專門學校
東京法律專門學校
東京農學專門學校
東京獣醫專門學校
東京歯科專門學校
東京薬科專門學校
東京理學專門學校
東京文藝專門學校
東京音楽專門學校
東京美術專門學校
東京商學專門學校
東京工業專門學校
東京法律專門學校
東京農學專門學校
東京獣醫專門學校
東京歯科專門學校
東京薬科專門學校
東京理學專門學校
東京文藝專門學校

<東京学校総覧(抜粋)>

大正時代の東京の學校を思い浮かべることができましたか?これらの古い資料は、実際に手にとって閲覧いただけます。興味のある方は、お気軽にカウンターまでお声かけください。

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

クマなく さんぽ



台東区

日本のクラシックが育った 場所

旧東京音楽学校奏楽堂は、かつて瀧廉太郎がピアノを弾き、山田耕筰が歌曲を歌い、三浦環が日本初のオペラ公演でデビューを飾った“日本のクラシック発祥の地”として、長きにわたり音楽教育の中心的な役割を担ってきました。その後老朽化から使用が禁止されますが、昭和58年に台東区が譲り受けることになり、昭和62年に現在の地へ移築・復原されて一般公開されるようになりました。その翌年には、日本最古の洋式音楽ホールとして国の重要文化財に指定されています。

“生きた文化財”が、 リニューアル

その旧奏楽堂が、保存活用工事を終えて、昨年11月に5年半ぶりにリニューアルオープンしました。天井や外壁の耐震補強や、外壁塗装などを経て、旧くて新しい重要文化財として蘇りました。旧奏楽堂のホールには、中央天井をかまぼこ型にすることによる音響等の機能向上や、二重にした壁面や床の間に藁やおがくずを充填することによる遮音効果など、さまざまな工夫が見られました。その設計や建築上の工夫と、明治時代の西洋建築の趣はそのままに、客席を大きくする、防音窓を設置するなどして、演奏を快適に楽しめるようになりました。

奏楽堂のシンボル パイプオルガンも復活

旧奏楽堂にある「パイプオルガン」も、保存活用工事に伴い解体・搬出して修理を行いました。このパイプオルガンは、徳川頼貞侯がイギリスから購入し、昭和3年に東京音楽学校に寄贈したもので、コンサート用としては日本最古のパイプオルガンです。1階の展示室には、パイプオルガンのミニチュアモデルが設置されていて、誰でも音を出して楽しむことができます。展示室にはほかに、同校の卒業生である瀧廉太郎や山田耕筰、童謡「赤い靴」「七つの子」「青い眼の人形」などの作曲家として知られる本居長世の楽譜や写真、遺愛品など貴重な音楽資料が展示され、見学することができます。

“日本のクラシック発祥の地”
リニューアルオープン

「旧東京音楽学校奏楽堂」

明治23年に建てられ、東京音楽学校(現・東京藝術大学音楽学部)の講堂兼音楽ホールとして使用されていた奏楽堂。昭和63年に重要文化財に指定され、「旧東京音楽学校奏楽堂」として一般公開されていた同施設が、保存活用工事を経て、再開館しました。



2階ホール「奏楽堂」



奏楽堂外観

パイプオルガンのミニチュアモデル

旧奏楽堂は、当初の目的である音楽家を育てるホールとして、今も藝大生のコンサートなどに使用されています。

●藝大生による木曜コンサート

原則として毎月第3木曜日 開演:14:00 入場料:500円

●日曜コンサート(一般公開日)

第1・第3日曜日 チェンバロ演奏

第2・第4日曜日 パイプオルガン演奏

演奏時間:14:00と15:00の2回、各30分間 入館料:300円

●日曜特別コンサート

第5日曜日 開演:14:00 入場料:500円

重要文化財 台東区立 旧東京音楽学校奏楽堂

所在地 台東区上野公園8-43

公開日 日・火・水曜日(木・金・土曜日はホールの使用がない場合)

開館時間 9:30 ~ 16:30(最終入場は16:00まで)

休館日 月曜日(祝休日の場合は、翌平日)、年末年始

入館料 一般¥300(¥200)、小・中・高校生¥100(¥50)

※()内は20名以上の団体料金

※当館で開催されたコンサート(「日曜コンサート」を除く)の

入場チケットの半券をお持ちいただくと、1回に限り団体

料金で入館いただけます。

お問い合わせ 03-3824-1988

23区の 平成を ふりかえる!

特集

千代田区



生活環境条例制定

平成14年10月に生活環境条例を制定し、全国に先駆けて、路上喫煙に対して過料2千円の徴収を実施している。

千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4252 安全生活課

江東区



新たな時代に向けて開発の続く臨海部

オリンピック・パラリンピックの競技会場も数多くあり、ますますの発展が見込まれます。

☎03-3647-2299 広報広聴課

品川区



平成3年しながわ水族館オープン!

平成3年にオープンしたしながわ水族館は、平成30年3月末で、累計約1,856万人の来場者を達成しました。

品川区勝島3-2-1しながわ区民公園内
☎03-3762-3433 しながわ水族館

豊島区

財政負担なしの エコ庁舎完成

平成25年竣工。住居一体型とすることで財政負担なしを実現。環境にも配慮した新庁舎は区の新たなシンボルです。

豊島区南池袋2-45-1
☎03-4566-2533 広報課

北区



北区立中央図書館(赤レンガ図書館)のオープン

旧陸軍の赤レンガの建物を利用し、平成20年に図書館としてオープン。また、翌年度にはグッドデザイン賞を受賞しています。

北区十条台1-2-5
☎03-5993-1125 北区立中央図書館

中央区



「食のまち[築地]のにぎわいの拠点」 「築地魚河岸」がオープン!

市場移転後も築地の活気とにぎわいを将来に向けて継承するための施設として、平成30年10月にグランドオープンしました。

中央区築地6-26-1,6-27-1
☎03-3546-5472 地域整備課

港区

平成18年4月、 区民に信頼され、 身近で便利な区役所・ 支所の実現をめざし、 総合支所中心の 区政運営へ 転換しました

港区内を芝・麻布・赤坂・高輪・芝浦港南の5地区にしました。

☎03-3578-2094 企画課企画担当



目黒区



名建築が総合庁舎になりました

建築家村野藤吾氏の代表作の一つ。平成15年に【目黒区総合庁舎】として再生され、「開かれた庁舎」として親しまれています。

目黒区上目黒二丁目19番15号
☎03-5722-9621 広報課報道・情報公開係

大田区



平成22年10月 羽田空港国際線旅客ターミナルオープン

羽田空港再国際化に伴い、国際線旅客ターミナルが供用開始しました。首都圏の玄関として、多くの方に利用されています。

☎03-6428-0888 東京国際空港ターミナル インフォメーション

荒川区



汐入地区が新しいまち並みに大きく変貌!

住宅や工場等が密集していた汐入地区(南千住3・4・7・8丁目)が、市街地再開発事業等により、災害に強い安全安心なまちに生まれ変わりました。

☎03-3802-3111 内線2138 広報課広報係

板橋区



「陸軍板橋火薬製造所跡」が国史跡に指定

平成29年10月、官営工場としては日本最古の部類に属する同製造所の遺跡が国史跡に指定。都内初の近代化・産業遺産を中心とする「史跡公園」として整備を進めていきます。

板橋区加賀一丁目7番及び8番
☎03-3579-2636および03-3579-2664 教育委員会事務局 生涯学習課

新宿区

ゴジラに 特別住民票を交付し、 新宿観光特使に 任命しました

平成27年4月9日、世界的に有名なゴジラを新宿区民として住民登録し、特別住民票を交付しました。また、新宿観光特使にも任命しました。

☎03-5273-4069 文化観光課



©TOHO CO., LTD.

文京区

文京区のランドマーク 「文京シビックセンター」が 平成6年に竣工!

文京区役所の庁舎機能のほか、区民施設や音響効果に優れた文京シビックホールを併設。展望ラウンジは観光客に人気の観光スポット!

文京区春日1-16-21
☎03-5803-1162 施設管理課



世田谷区

平成8年11月 三軒茶屋のランドマーク ～キャロットタワー竣工

駅に直結する高層複合ビル商業施設、劇場などの文化施設が揃い、最上階のレストランからの眺望は世田谷随一です!

世田谷区太子堂4-1-1
☎03-5432-2008 広報広聴課



渋谷区



渋谷区役所の庁舎移転

平成最後となる今年1月15日に区役所が新庁舎に移転しました。窓口のワンストップ対応や職員のワークスタイル改革に取り組んでいます。

渋谷区宇田川町1-1
☎03-3463-1287 広報コミュニケーション課 広報係

練馬区



練馬区独立70周年記念事業 「真夏の第九」コンサート開催

約1,100人の公募区民が、ベートーヴェンの交響曲第9番「歓喜の歌」を合唱しました。

練馬文化センター(練馬1-17-37)
☎03-5984-1284 文化・生涯学習課 文化振興係

足立区



5大学がオープン

廃校となった小中学校の跡地等を活用して、個性の異なる5つの大学を誘致。約15,000人の学生が学んでいます。2021年には、区内6つ目の大学が開校予定で、さらなる活力あふれるまちづくりを進めています。

☎03-3880-5803 シティプロモーション課

台東区



東京初の世界文化遺産 上野に誕生!

約10年間にわたり地域と一体となって推進してきた活動が実を結び、平成28年7月、国立西洋美術館が東京初の世界文化遺産になりました。

台東区上野公園7-7
☎03-5246-1193 都市交流課世界遺産担当

墨田区



東京スカイツリー®の完成

平成20年7月の着工から約4年かけ平成24年5月に自立式電波塔としては世界一の東京スカイツリー®が開業しました。

墨田区押上1-1-2
☎03-5608-6930 広報広聴担当

中野区



平成24年、「中野四季の都市(まち)」が誕生

平成24年にオフィスビルや大学、公園が一体となった「中野四季の都市(まち)」がオープン。さまざまなイベントが展開されています。

中野区中野四丁目
☎03-3228-8804 企画部広聴・広報課

杉並区



全国初となる自治体間連携による 特養が南伊豆町にオープン

平成30年3月、構想開始から約7年の歳月を経て、静岡県南伊豆町に特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」が完成。豊かな自然とゆとりのある居住スペースが特徴です。

☎03-3312-2111 高齢者施設整備担当

葛飾区

葛飾柴又が 国の重要文化的景観に 選定

平成30年2月13日に、葛飾柴又が都内で初めて、国の重要文化的景観に選定されました。

京成金町線柴又駅下車
☎03-3838-5558 観光課



江戸川区



多様な経験や知識を地域の力に 平成16年 江戸川総合人生大学開学

さまざまな知識や経験を持った方々が年齢を超えて学び、それぞれの生きがいを見つけることができる大学。これまで約1000人が卒業し、地域で活躍しています。

江戸川区篠崎町7-20-19(篠崎文化プラザ内)
☎03-3676-9075 江戸川総合人生大学

特別区自治情報・交流センターからのご案内

特別区自治情報・交流センターでは、様々な講座や企画を開催しています。ぜひご参加ください。

※講座や企画の詳細は(公財)特別区協議会ホームページ(HP)をご覧ください。

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。

どなたでも自由にご覧いただけます。

開催時間 平日|9:00～20:30 土曜日|9:00～17:00 日曜日・祝日|休館

(公財)特別区協議会HP <http://www.tokyo-23city.or.jp/>

**特別区全国連携プロジェクト
平成31(2019)年度第1回
全国連携展示(群馬県市町村)
ぐんま 鉄たび 湯たび 歩きたび**

主催 特別区長会
(公財)特別区協議会
展示期間 2019年5月14日(火)
～6月20日(木)



平成をふりかえる!「One23」の誕生!

平成22年7月1日、「東京23区が見える。わかる。」をコンセプトに公益財団法人特別区協議会の23区情報誌「One23」が誕生しました。

第1号では、23区の名前の由来を紹介しています。その他、「歩く」「知る」「学ぶ」「食べる」のコーナーがあり様々な情報を提供しています。また、「23区のイベントカレンダー」として、7月から9月の各区のイベントの紹介もしています。

以来、少しずつ誌面構成をかえながら、年4回発行の季刊誌として今号で36号となりました。



編集後記

「平成」から新しい元号にかわろうとしています。

今号では、おおよそ30年間の「平成」をふりかえり、この間の各区の出来事を紹介しています。

平成生まれの「One23」、これからもよろしくお願ひいたします。(H&F)

特別区自治情報・交流センター

千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館

開館時間: (4階)9:30～20:30

(土曜日は9:30～17:00)

休館日: 日曜日、祝日、年末年始等

One23に掲載されている各種資料等の情報はコチラ

<http://www.research.tokyo-23city.or.jp/>



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩5分